



12月のほけんだより



令和5年12月1日発行
三永太陽保育園

年の瀬に近づき、何かとあわただしくなる12月。生活リズムが崩れがちで、感染症も流行り始める時期です。子どもたちにとってはクリスマスに年末年始と、お楽しみがいっぱいの月ですが、体調管理には十分気を配っていきましょう。

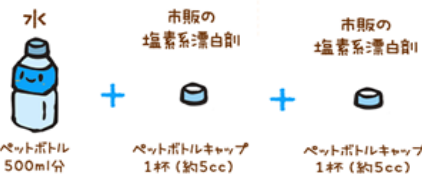


子どもが嘔吐・・・ 正しい処理が大切です！！

冬場に増える嘔吐・下痢は、細菌やノロウイルスの感染による胃腸炎が原因なことが多いです。便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれていますので、二次感染に注意して処理する必要があります。

- ①マスク、手袋をつけて処理する
- ②嘔吐物はペーパータオルなどで覆って取り除く。
- ③嘔吐した場所にペーパータオルをかぶせ、その上から次亜塩素酸ナトリウム（市販のハイターやブリーチなどを50～100倍に薄めたもの）をかけて拭きとる。（金属や木は腐食するため水拭きまで行いましょう）
- ④汚物やマスク・手袋はビニール袋に入れ、口をしっかりと縛って捨てる。
- ⑤最後は手洗いを忘れずに！

○塩素漂白剤の50倍の薄め方○



～予防接種を受けましょう～

該当の方のみ予防接種チェック表をお配りします。新たに受けた予防接種や乳幼児健診があれば記入して返却をお願いします。（裏面もご確認ください）

任意接種のおたふくかぜもできるだけ接種しておくようにしましょう。



冬はやけどに注意

寒くなってくると暖房器具によるやけどに注意が必要ですが、実は子どものやけどの原因の1位は汁物・熱い飲み物・麺類などの飲食物。一瞬の油断でやけどは起こります。熱い飲食物は子どもの手の届かない場所に置く等、対策を習慣にすることが必要です。やけどをしてしまったら、流水で20分以上冷やしましょう。洋服の上からやけどをした場合は、無理に脱がすと皮膚がはがれることがあるため服の上から冷やしましょう。やけどの面積が広いなど重度のやけどは、保冷剤などで冷やしながらか急受診が必要です。

※アロエを塗るなどの民間療法を安易に試すのはやめましょう。細菌感染を起こして悪化することがあります。



感染症にかかったら・・・保育園までご連絡をお願いします

保育園は多くの子ども達が集団で生活をしています。お友達と密に関わり、成長しています。

少しでも流行を防ぐため、園ではおもちゃの消毒や換気などを行っています。また流行状況に応じて、様々な感染対策をしています。すみやかに対策を行うために、感染症と分かりましたら、園までご連絡をお願いします。



一緒に遊んだり...

一緒に食べたり...

